私がシステナで実現したいことは、クライアント先に自分が提案しサービスが、多くのエンドユーザーに使っていただけることです。

なので中期の目標として、三年後にはプロジェクト内で多くの提案をすることができるアイディアパーソンのような存在になります。

そのために一年目には自分に足りていない知識を補うためにITパスと基本情報技術者をします。

二年目にはクライアントの要望とその目的を理解し、要望に沿った仕事が一人前にできるようになり、技術者等級４－１に昇格します

そして三年目は顧客要望をもとに仕様書など作成するなかで実際につかう人の視点を取り入れた意見を出し、一年目、二年目の後輩にもフィードバックを行う中でその視点を伝えていき、多くのシステナ社員がより、クライアントとエンドユーザーのことを考えることができるようにしていきます。

業務の中で感じた改善案を先輩方に共有し、さらに知見を広げ、調査、解析を要する業務を独力で行えるようになります。

また、先輩から教わったことを、メモに書きその意図が分からない場合は聞き返すことで業務に対してその目的がはっきりわかる状態にします。

どのように実現をしていく？

謙虚な気持ちで自己研鑽をしていきます。一日30分以上勉強し、まずはITパス、基本情報技術者を取得し、そのあともプロジェクトでとったほうがいい資格を取得していきます。

また、アイディアパーソンになるためにインプットとアウトプットを繰り返していきます。

具体的には先輩から教わったことはメモし、疑問に思ったことはすぐに聞くのではなく、調べたり自分の中でまとめてから質問をしたり、プロジェクトの中で提案があれば積極的に発言し、

FB

一言で等級を上げるといえばいい

自分の将来的な目標に対する二年目のやること、その理由がマイナスのものではなく、プラスの理由にする

信頼がないとその人の提案が通らないということはない

そんな人でもプロジェクトに対するいい案なら採用される。

もっと自分で考えて発言する

二年目技術者等級４－１の昇格が自分の目的につながる理由。

技術者等級４－１　与えられた仕様書・設計書などの中位ドキュメントを基にした調査・解析を要する業務について、独力で適切な判断を行い、品質・納期を確保することができる。

簡易なドキュメントの作成において、規約・ルールに則った簡潔で分かりやすい表現を用いて作成することができる。

クライアントの目的が理解できていれば適切な判断ができると考えたため、技術者等級４－１が達成することで、まずはクライアントの目的を考えた提案ができるようにしていきます。